

【電工】

職階	作業内容	技能レベル	必要な資格(目指すべき資格)	必要な教育・訓練
見習工 入職後 1～2年	・現場内を安全に行動でき、指示通り作業ができる	・現場の雰囲気に慣れる ・工事の流れ、組立、用語等が理解できる ・補助作業者としての役割が果せる	(○必要な資格) ・目指すべき資格	・現場入場に必要な安全衛生教育 ・電気工事の概要理解のOJT 施工の仕組 工具の使い方、管理 資材の名称、使用目的 他職種と共同作業の必要性と人間関係
一般電工 (電工Bクラス) 入職後 2～3年	・軽微な工事の施工 ・指示された作業の直接施工	・施工手順書、安全指⽰書の理解 ・平易な施工図面の読解能力 ・施工絡みの他業種設備の一般的知識 ・工具の正しい使い方 ・電気工事士に指示された作業内容を理解し軽微な作業、⼯事の段取り、施工手順ができ、その作業が安全に遂行できる	○認定電気工事從事者 ・第2種電気工事士	・基礎的な法令などの知識 ・配線の原則と基本事項 ・電気工事の施工法 ・工具図の読み方 ・建築図の記号と見方 ・コンクリート寸法図の見方 ・現場及び建築墨出し表示の意味 ・第2種電気工事土受験講習
電気工事士 (電工Aクラス) 入職後 3～5年	・電気工事全般の施工 ・主任電工の下で担当工事における指示 ・主任電工、作業員間の連絡、調整打合せ	・作業員、電工等への技術指導力 ・施工手順書、安全指⽰書の作成 ・施工図面の読解能力とその工事展開 ・他作業との取合い調整 ・建築・他設備図面の読解能⼒ ・担当工事、施工管理についての知識、理解 ・担当工事に必要な⼯具、材料の手配、調達 ・担当工事、グループ員の掌握	○第2種電気工事士 ○認定電気工事從事者 ・第1種電気工事士	・強電工事の工法と実務 ・弱電工事の工法と実務 ・施工の仕組 ・建築設備の概要 ・安全衛生管理 ・第1種電気工事土の受験講習 ・電気事故例について ・材料の拾い出し教育 ・認定電気工事從事者資格取得講習 ・各種技能講習・特別教育 （玉掛、建設用リト、アーケ溶接、研削砥石等）
主任電気工事士 (職長クラス) 入職後 5～8年	・電気工事の施工管理 ・電工A、Bクラスに対する指揮、指導 ・関係職種間の連絡、調整業務 ・工事長の補佐としての工程、施工、安全等の管理業務	・施工の知識・技能は常に高水準 ・団頭、文書などの指示、命令、連絡説明等を正確、迅速に理解し、状況に合った判断ができる ・自己的意思、目的を相手に性格に理解させる表現力 ・担当工事業務を達成させるための実行計画、段取り、手順を的確に設定する計画力 ・職場秩序の維持に努める規律性 ・職位の中での立場を良く理解し、仕事の管理を理解し、職責を完遂しようとする努力する責任感	○第1種電気工事士 ・2級電気工事施工管理技士 ・ガス溶接作業主任者 ・玉掛け技能者 ・酸素欠乏危険作業主任者 ・地山の掘削作業主任者 ・高圧ケーブル工事技能認定 ・地中線用GR付高圧負荷開閉 施工技術認定	・安全衛生管理者教育 ・直接工事費の算出教育 ・原価管理、資材管理 ・施工管理、工程管理の問題点把握とその処理 ・各種検査の方法とその段取り ・2級電気工事施工管理技士受験講習 ・品質管理の実務教育 ・不安全行動をなくすための各種講習への参加 ・電気工事技術講習（法定講習）
工事長 入職後 8～14年	・電気工事全般の管理、監督 ・建築、設備業者等との折衝 ・本社との連絡、調整	・施工目標を達成させるため、実行可能な最も効果的な手順、方法、資材等を計画立案でき企画能力 ・工事の円滑な施工を考え、圧力や圧迫に屈せず相手を理解、納得させる涉外能力 ・担当作業者の信頼を得て全員をまとめ、個々の能力を最大限に発揮させる統率能力 ・経営方針をよく理解し、広い視野に立って目標達成する経営意識	○第1種電気工事士 ○1級電気工事施工管理技士 ・消防設備士（甲種第4類）	・管理者として的一般教育 ・1級電気工事施工管理技士受験講習 ・現場代理人教育 ・職長教育の実務 ・新材料、新工法の知識と技術講習 ・施工管理上各種自主検査の実務